

令和4年6月定例会 あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会6月定例会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

町内では、田植えが進み美しい田園風景が際立つ季節となりました。また、蛍も飛び交い始め久山町の豊かな自然を楽しめる時期でもあります。

今、社会で起きているさまざまな出来事を通して、私たちの暮らしはこれまでの価値観を大きく塗り替え、変化が求められる時代に突入しています。しかし一方で、昔から続くこの町の景色や人とのつながりに触れていると、過去から引き継がれていることの大切さと感謝を改めて痛感します。そしてこれらを忘れることなく、伝え続けていく責任を感じながら、日々の業務に粛々と取り組んでまいります。

さて、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってからおよそ3カ月がたちました。これ以上尊い命を犠牲にしないためにも、1日でも早い終結を祈るばかりですが、出口の見えない状況は新たな課題をも生み始めています。新型コロナウイルス感染症による経済回復の先行きがいまだ不透明なことに加えこの軍事侵攻により、世界的な半導体不足や、小麦、ガソリン価格が高騰するなど、私たちの暮らしに大きな影響が見え始めています。そのため日本のエネルギー危機や従来の産業構造、食料自給率37%という低さが改めて懸念され始めています。政府としても脱炭素を含めた再生可能エネルギーの推進や食料自給率向上に向けた農業施策の展開が今後加速することが予測されています。本町としても、この流れに遅れることなく対応を図ってまいります。

昨年末から猛威を振るっておりましたオミクロン株による新型コロナウイルス感染者数は、現在全国的に減少傾向が続いています。福岡県内においても新規感染者数が、5月中旬以降減少し6月2日現在1,219人となっています。このような状況を踏まえウィズコロナ時代に突入し、感染対策と経済活動の両立がさまざまな分野で始まっています。

本町においては、4月にスタートした高齢者外出促進事業であるイコバスの日の無料申請者数が225名に上り、利用者数も前年度比から約2倍となっております。町内では、15日にあわせてイベントを開催するなど、住民の皆さまの出かける楽しみをつくる動きが生まれています。

7月1日から順次開始する4回目のワクチン接種をはじめ、引き続き感染症予防対策を十分に図りながら、さまざまなイベントや住民サービスの再開に向けて少しずつ動きを進めてまいります。

政府としては、このような社会状況から、コロナ禍における生活困窮者等の生活者負担軽減に資する支援策として、地方臨時交付金を拡充した約1兆円の補正予算が可決されました。それに伴い本町としましても、町民の皆さまの生活支援につながる事業として、指定ごみ袋支給事業915万9,000円、学校給食費等助成金事業2,113万1,000円などに関わる予算を今回上程いたしております。今後も政府の動向を注視し、効果的な事業を展開してまいります。

最後になりますが、皆さんもご存じのように先行きが不透明で将来の予測が困難な状態をこれからいかに乗り越えていくか、今社会は大きな転機を迎えています。久山町も同じであり、今未来を見据え何を選択し、実行していくかが求められています。そのためには、原点回帰、物事の出発点に目を向けることが必要であり、町民の皆さま、お一人お一人と向き合い、行政と議会が一緒になって進んでいくことが、今まで以上に大切です。今後も、住民の皆さまから信頼・共感される町政運営を目指してまいります。

引き続き議会の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回、6月定例会に提案をします案件は、久山町教育委員会委員の任命同意についてなど、全5議案でございます。

詳細につきましては、担当課長が議案説明会においてご説明を申し上げますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年6月3日

久山町長 西村 勝